一九九〇年度第四回運営委員会記録

日　時　一九九〇年五月二十六日
場　所　中央大学駿河台記念館
出席者　相川良彦、磯辺俊彦、柄澤行雄、高橋明善、長谷川昭彦、松田苑子、安原　茂
報　告
〈事務局〉
一　新入会員
杉原　たまえ　千葉大学大学院自然科学研究科
加瀬　良明　新潟大学　教養部
原　理夫　明治大学大学院農学研究科
二　第三八回大会日程（大野会員より）
十月一〇日（水・祝）～十一日（木）に、高知県十和村で開催することになった。
三　地区研究会開催予定
北海道・東北地区
六月三〇日（土）一三：三〇～
東北大学経済学部中会議室於
報告(1)　長谷部弘「村落共同体と家をめぐる二、三の言説について」
(2)　佐藤　勉「集落的なるものについて」
中部・近畿地区
六月十六日（土）一三：〇〇～
同志社大学　徳照館一階会議室於

報告(1)　松本通晴「近畿村落の変動―松本著『農村変動の研究』を通して―」コメンテーター：中田　実

(2)　山本剛郎「駅前再開発と村落の対応」コメンテーター：小林一穂

四　学術会議登録の準備状況

〈年報編集委員会〉

一　年報第二十六集の編集状況報告

六月初旬に出版社に入稿予定

二　委員の死去や辞意の表明が出ているが、次の改選時（九〇年一〇月）まで幹事を含めて現在の体制のままで運営してゆく。

審　議

一　第三八回大会に向けての準備について

(1)　自由論題報告者の募集

三八回大会参加意向アンケート時と「研究通信」一六一号で募集する

(2)　共通課題シンポジウムの準備

①　宿題委員会開催のために、これまでの大会・研究会の論点整理を安原宿題委員長が行い、これを全宿題委員に配布し、大会での討論の柱を提案してもらうためのアンケートを行う（六月十五日）。

同時に、共通課題報告者の候補を挙げてもらう。

②　このアンケート結果をもとに、六月二十三日（土）に宿題委員会を開催する。その際、第二回研究会の内容・報告者等を決定する。

③　七月二十一日（土）に第二回研究会を開催する。

二　次期事務局について

関東・東京地区に限定しないで、広く当番校を求めてゆくこととする。

三　安原茂宿題委員長が本務校の都合により、本年度大会に出席できないことになり、その不便を補うために、前宿題委員長の松田苑子宿題委員が委員長の代行としてコーディネーター的な役割を担うこととなった。